

令和7年11月28日

伊豆の国市製品プラスチック再商品化業務事業者選定プロポーザル 選考結果及び審査講評

伊豆の国市製品プラスチック再商品化業務
事業者選定プロポーザル審査委員長

1 概要

- (1) 事業名 令和7年度 大仁リサイクルセンター処理事業
製品プラスチック再商品化業務
- (2) 選定方法 公募型プロポーザル

2 審査・選考の経過

項目	日程
(1) 第1回審査委員会	令和7年10月10日(金)
(2) 手続き開始の公告	令和7年10月16日(木)
(3) 質問書に対する回答	令和7年10月29日(水)
(4) 参加申込書及び企画提案書の提出期限	令和7年11月5日(水)午後5時まで
(5) 一次審査結果通知	令和7年11月10日(月)
(6) 第2回審査委員会(二次審査)	令和7年11月17日(月)

3 選考方法

- (1) 一次審査 提出書類の不足、様式の逸脱、資格要件及び失格事項の有無
- (2) 二次審査 プレゼンテーション、質疑応答及び評価基準に基づく評価

4 審査結果

審査結果	得点 (500点満点)	参加者名
最終被選定者	426点	エム・エム・プラスチック株式会社 を代表企業とするグループ

5 講評

本業務のプロポーザル公募に対し、1グループより参加申込書及び企画提案書の提出がありました。

本審査委員会は、企画提案書の内容確認、プレゼンテーション及び質疑応答の実施により、厳正に審査、採点をした結果、審査委員会が定める基準点を上回ったことから、最終被選定者として「エム・エム・プラスチック株式会社を代表企業とするグループ」を選定しました。

審査委員会では、最終被選定者の「業務実績」に加え、安定的な業務が可能な「処理能力、工程」に関する部分も高く評価されました。

今後、市並びにグループと業務に関する協定書締結に向け、協議により詳細な検討をしていくこととなります。適切な業務遂行が担保できるよう望みます。

また、独自提案でありました大型プラスチック製品の取り組みについても、実現に向け、引き続き検討していただきたいと思います。

最後に、独自提案を行っていただいたグループについては、多大な労力を払って提出書類の作成及びプレゼンテーション審査にご参加いただいたことに対して、改めて感謝申し上げます。